

学会等参加

平成24年度

日本臨床腫瘍薬学会学術大会2013

日 時：平成25年3月16日（土）～17日（日）
会 場：タワーホール船堀（東京都江戸川区）
発表形式：一般演題ポスター
発表テーマ：「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成を目的とした大学間合同実習の試み」

日本薬学会第133年会

日 時：平成25年3月27日（水）～30日（土）
会 場：パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）
発表形式：一般演題ポスター
発表テーマ：「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎における大学間合同在宅がん医療・緩和ケア実習の試み」

第15回日本在宅医学会大会

日 時：平成25年3月30日（土）～31日（日）
会 場：ひめぎんホール（愛媛県松山市）
発表形式：一般演題ポスター
発表テーマ：「大学間連携教育の推進を目的とした多職種協働による在宅緩和ケア実習の試み」

平成25年度

第21回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会in長崎

日 時：平成25年7月6日（土）～7日（日）
会 場：長崎ブリックホール（長崎県長崎市）
発表形式：一般演題ポスター
発表テーマ：「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成を目的とした大学間合同専門職連携教育の展開」

第45回日本医学教育学会大会

日 時：平成25年7月26日（金）～27日（土）
会 場：千葉大学（千葉県千葉市）
発表形式：一般演題ポスター
発表テーマ：「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成を目的とした大学間合同専門職連携教育の試み」

大学間連携共同教育推進事業選定取組全国シンポジウム

日 時：平成26年2月18日（火）

会 場：学術総合センター 一橋講堂（東京都千代田区）

発表形式：ポスター

発表テーマ：「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」



平成24年度文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組
 「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」



わが国の保健医療分野では多職種協働による在宅医療体制の整備が重要な課題となっており、地域包括ケアの中で在宅がん患者の療養支援を行う体制整備を推進する必要性は高い。そこで、本事業は薬学・看護学の統合教育体制を確立している長崎県内の国公私立3大学（長崎大学・長崎県立大学・長崎国際大学）が、さらに医学・歯学等の教育者を加えた協働教育体制の充実を図り、県内の4自治体・12職能団体と連携・一体となって、多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成の拠点作りを目指す取組である。

プロジェクト概要

育てたい人材像 多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門職としての主体性と協調性を身につけ、在宅がん医療に貢献できる人材。

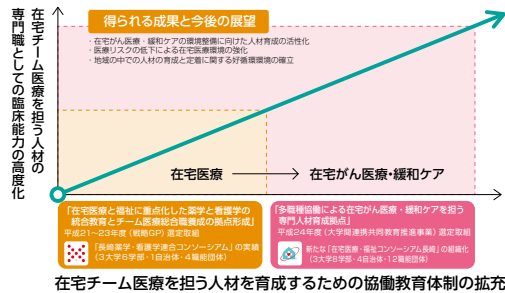
連携の戦略 既に確立している在宅チーム医療に関する薬学と看護学の統合教育体制を基盤とし、新たに医学や歯学等の教育者と地域の人材を加えた協働教育体制の充実を図ることにより、実行性のある連携教育を展開する。

「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」の組織化

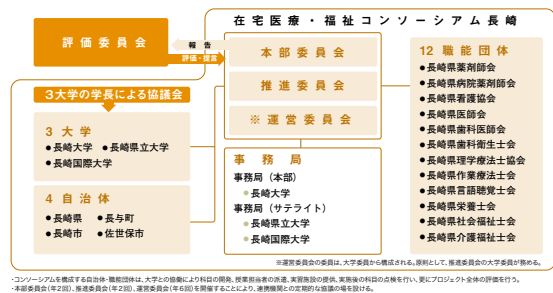
連携の成果 学生は多職種協働の必要性を認識し、自らの専門分野とは異なる分野のケアに関する基礎力、応用力、実践力を身につけ、在宅がん患者の療養支援をできる専門性を修得する。学生は地域の在宅医療機関や福祉施設で広く活躍する。

在宅医療・福祉コンソーシアム長崎のロゴマーク

多職種協働による在宅チーム医療体制の発展・充実



運営体制と評価体制



連携取組の実現に向けた実施体制

在宅医療・福祉コンソーシアム長崎

大学教育支援
 課題の共有化
 取組の一体化
 人材育成支援

長崎市
 長崎県
 長崎大学
 長崎県立大学
 長崎国際大学
 長与町
 佐世保市

薬剤師会
 介護福祉士会
 社会福祉士会
 栄養士会
 言語聴覚士会
 作業療法士会
 理学療法士協会
 病院薬剤師会
 看護協会
 医師会
 歯科医師会
 歯科衛生士会

長崎県の地域包括ケアの中で在宅がん医療・緩和ケアに携わる職能団体

12職能団体

- 長崎県薬剤師会
- 長崎県病院薬剤師会
- 長崎県看護協会
- 長崎県医師会
- 長崎県歯科医師会
- 長崎県歯科衛生士会
- 長崎県理学療法士協会
- 長崎県作業療法士会
- 長崎県言語聴覚士会
- 長崎県栄養士会
- 長崎県社会福祉士会
- 長崎県介護福祉士会

3大学8学部

- 長崎大学（長崎市）
 - 薬学部（薬学）
 - 医学部（医学・看護学・理学療法学・作業療法学）
 - 歯学部（歯学）
- 長崎県立大学（長与町）
 - 看護学
 - 栄養学
- 長崎国際大学（佐世保市）
 - 薬学部（薬学）
 - 健康管理学部（栄養学）
 - 人間社会学部（福祉学）

4自治体

- 長崎県
- 長崎市
- 長与町
- 佐世保市

長崎薬学・看護学連合コンソーシアムのロゴマーク

長崎県内で薬剤師と看護師の養成課程を持つ国公私立3大学が、1自治体・5職能団体と連携し、平成21年度から活動を続けているコンソーシアム。

大学間単位互換科目の開発年次計画

科目名	コーディネート科目	学年	授業方法	区分	開講担当	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
在宅がん治療概論	○	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎大学		「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
在宅ケア概論	❖	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎大学	後期開講	「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
在宅緩和ケア概論	○	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎県立大学		「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
在宅医療概論	❖	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎国際大学	後期開講	「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
地域包括ケア概論	○	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎国際大学		「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
在宅チーム医療 早期体験学習	❖	低学年	実習	合同実習 (動機付け)	長崎大学 長崎県立大学 長崎国際大学	前期開講	「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
地域包括ケア 早期体験学習	○	低学年	実習	合同実習 (動機付け)	長崎大学 長崎県立大学 長崎国際大学		「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
薬物治療実践学	❖	—	講義 (オムニバス)	合同授業 (応用力)	長崎大学	前期開講	「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
在宅看護論	❖	—	講義 (オムニバス)	合同授業 (応用力)	長崎県立大学	後期開講	「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
在宅がん治療特論	○	高学年	演習 (模擬カンファ)	合同授業 (応用力)	長崎大学		「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
在宅緩和ケア特論	○	高学年	演習 (模擬カンファ)	合同授業 (応用力)	長崎県立大学		「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
地域包括ケア特論	○	高学年	演習 (模擬カンファ)	合同授業 (応用力)	長崎国際大学		「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
在宅がん医療・緩和 ケア合同実習	○	高学年	実習	合同実習 (実践力)	長崎大学 長崎県立大学 長崎国際大学	3月6～8日に 小規模トライアル 実施	2月～3月に 大規模トライアル 実施予定	「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、 充実化を図る。	

科目のモジュール化 ↓ 大学間単位互換プログラムの体系化

講義 実習 演習

長崎薬学・看護学連合コンソーシアムのロゴマーク

NICE キャンパス長崎について
長崎県内全ての大学、短期大学および高等専門学校で構成される単位互換制度 (本コンソーシアム提供科目:平成25年度履修者359名)

地域包括ケア早期体験学習

【実習概要】

目的 地域の在宅医療支援施設の担当者とともに在宅療養者宅への同行や地域包括支援センターの実務を学ぶことを通し、在宅療養支援の実態を知ること、多職種協働によるチームアプローチの重要性を考える。

一般目標 高齢者をはじめとする地域住民の保健・医療・福祉・介護ニーズに対して、地域包括支援センターが果たしている役割や、地域の関係機関と専門職がどのように連携し支援を行っているのかを理解する。

開講期間:平成25年9月18日(水)～平成25年9月19日(木)

開講場所:長崎大学薬学部、長崎市内の地域包括支援センター

対象:「NICEキャンパス長崎」単位互換履修生で、医療・保健・福祉・介護等の学科を専攻している1年次以上の学生

内容:施設体験学習後、「理想の地域包括支援センターを創ろう～ゆるキャラも創ろう～」をテーマとしてグループワークを行い、学習報告会で発表する。



参加学生 29名

歯学 4名
薬学 6名
看護学 11名
栄養学 4名
社会福祉学 4名

学生の声

歯学生

(長崎大学歯学部歯学科2年)

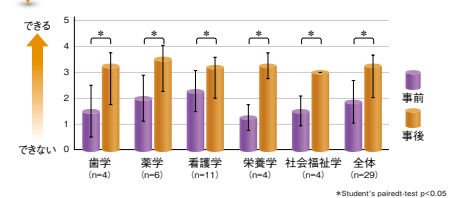
今まで地域包括支援センターについて知らなかったのだが、今回の実習を通して、地域や高齢者を支援する方法はたくさんあるのだと思った。今後自分ができるか、何をすべきか、歯学部生として考えていかなければならないと思った。

看護学生

(長崎県立大学看護栄養学部看護学科1年)

今回、他職種や他機関との連携がとても大切であると感じた。そのため、どんな環境でも対応できるような協調性を身につけていかなければならないと考える。そして、今回のように他大学・学科・学年の人たちなど、様々な人々と積極的に関わりを持っていくことと思う。また、他職種や他機関で働く人々の考え方や価値観なども学んでいこうと思う。

1 高齢者をはじめとする地域の様々な健康レベル・介護レベルにある人々が必要としているケアの内容について述べることができそうですか?



2 他学科の学生との学習は他の専門職への理解を深める良い機会になる(なった)と思いますか?

